

「With コロナの管理組合運営とコミュニティに関する実態及び意識調査」 報告書

調査の目的

コロナ禍における管理組合運営の状況、コミュニティ形成の実態、及び将来に対して感じたことを調査し、コロナによって生じた変化を今後はどう生かすかを考える基礎資料を得るとともに、With コロナ時代の管理組合運営とコミュニティ形成のあり方を探る。

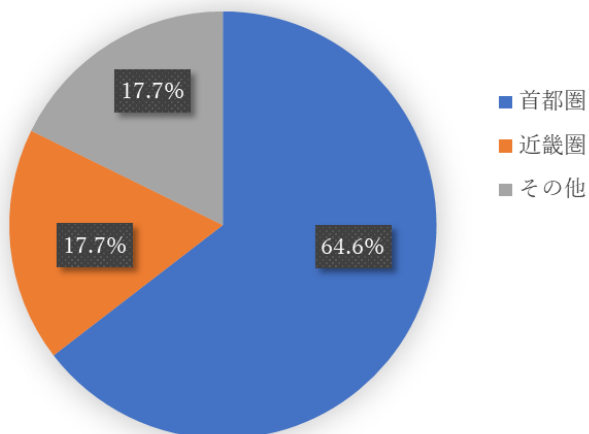
調査の概要

対 象 : 全国のマンション管理組合役員及びマンション居住者
方 法 : W e b アンケート
実施期間 : 2020 年 9 月 23 日(水) ～ 10 月 25 日(日)
回 答 数 : 316 名

調査結果

I. 基礎データ

1. マンションが所在する都道府県 (n=316)



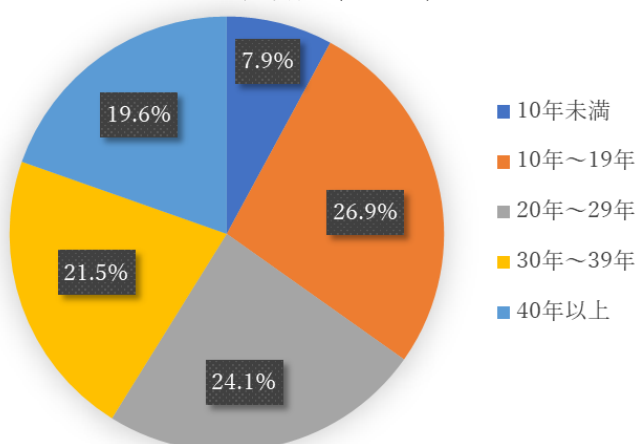
30 都道府県から回答

首都圏：東京都/神奈川県/千葉県/埼玉県
(1 都 3 県)

近畿圏：大阪府/京都府/滋賀県/奈良県/
和歌山県/兵庫県 (2 府 4 県)

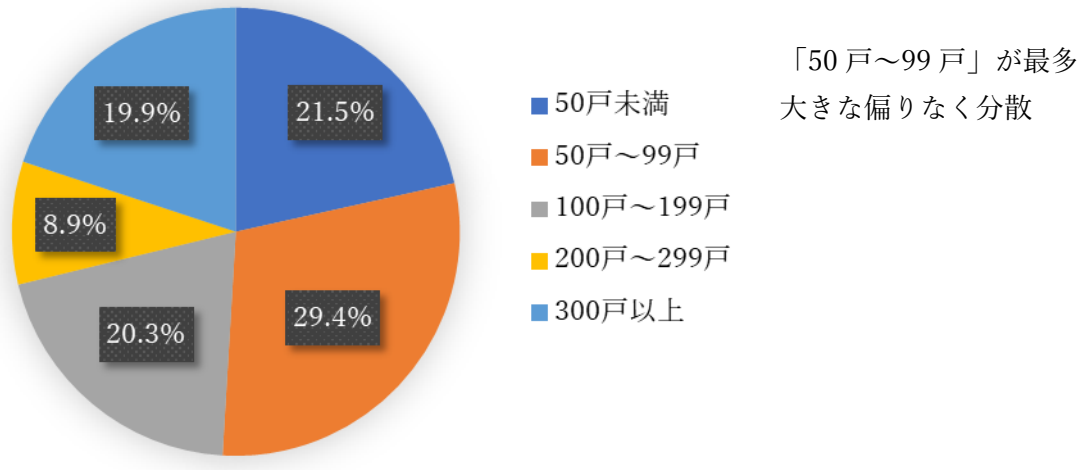
首都圏からの回答が多数
内、東京都は全体の 28.8%

2. マンションの築年数 (n=316)

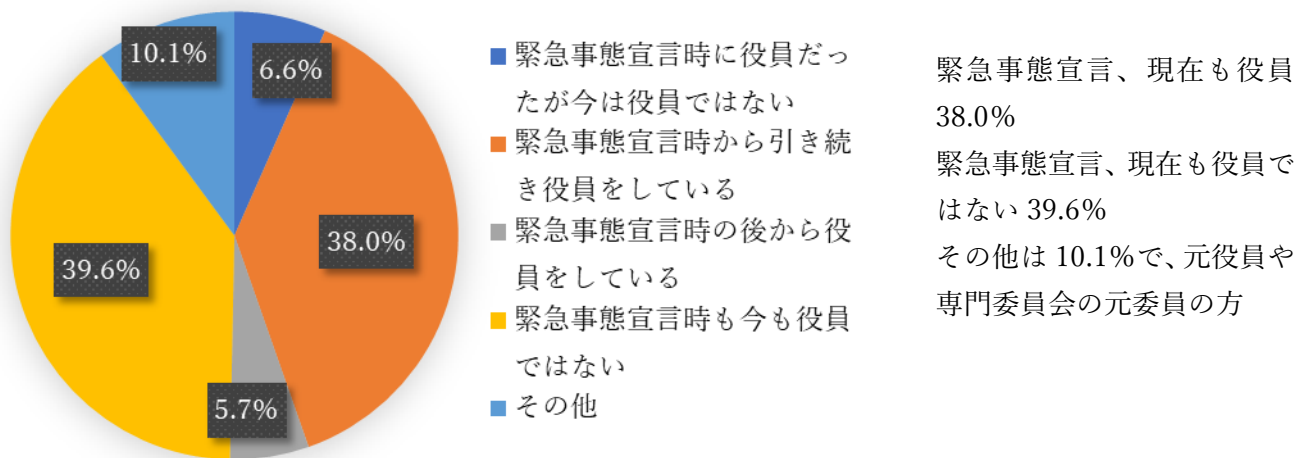


「10 年～19 年」が最多
「10 年未満」が最小
大きな偏りなく分散

3. マンションの規模（戸数）（n=316）



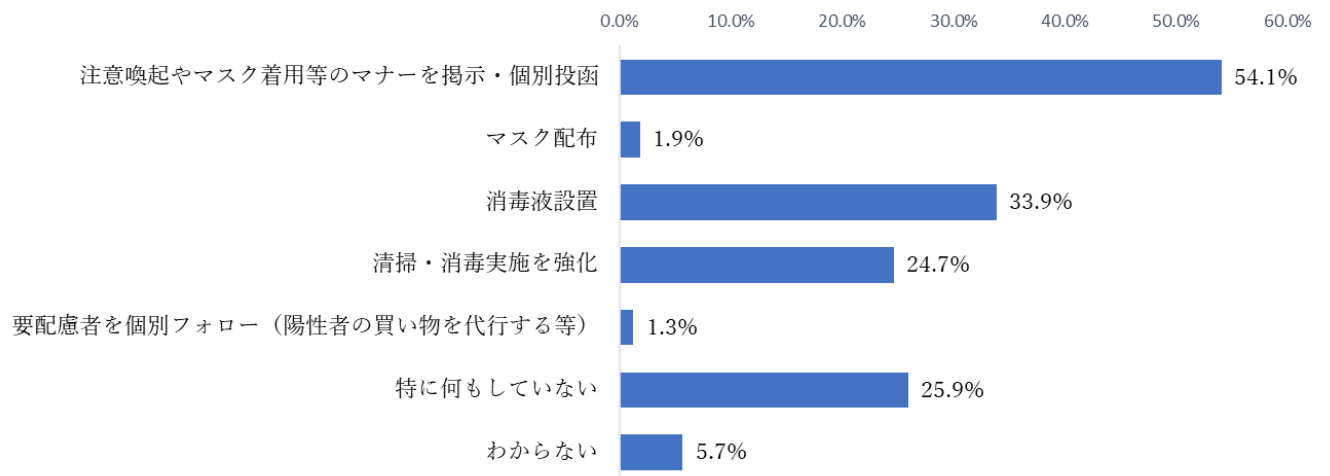
4. 回答者と管理組合との関係について（n=316）



II. コロナ感染対策

コロナ禍に対し、管理組合がどのような対応をしたか、意見対立や差別はあったか等を調査

1. 管理組合としてどのような対策をしたか（複数回答）

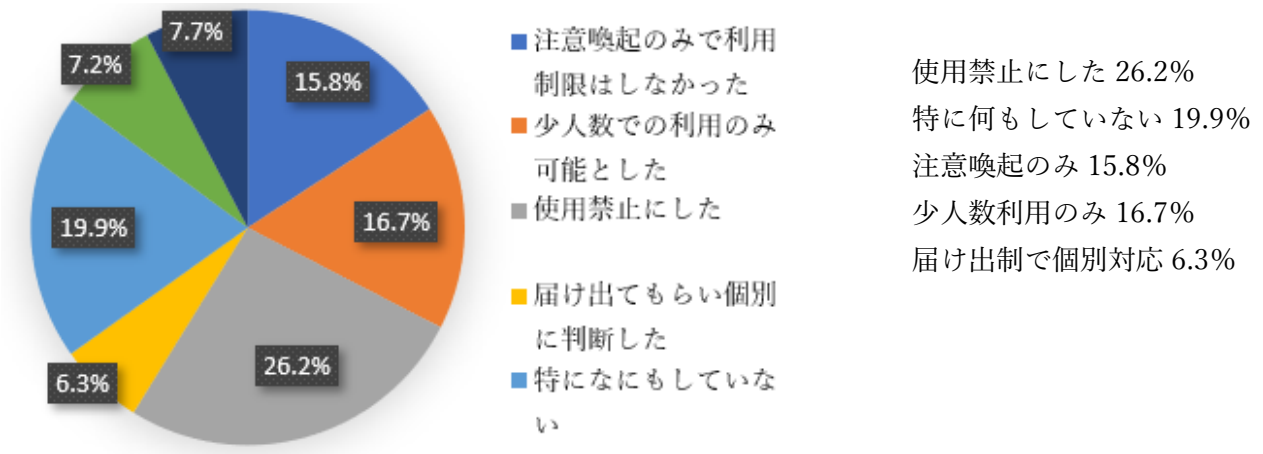


注意喚起、マナー掲示は 54.1%で半数以上の管理組合が実施
一方で「特に何もしていない」が 25.9%で四分の一を占める

【その他】

- ・エレベーターボタンに抗菌シートを貼る
- ・ゴミ収集庫取手に抗菌シートを貼る
- ・ゴミは収集日に直接集積所に持っていくようにした
- ・ドアノブ、エレベーターボタンを定期的に消毒
- ・玄関ロビーのドアを常時開放した
- ・外部からの訪問者への注意喚起、協力依頼をした

2. 緊急事態宣言時（4月7日～5月31日）における集会室の利用制限はありましたか
回答数は「集会室がない」を除く 221（n=221）



【その他】

- ・理事会が認めた会合のみ許可した
- ・集会室のソファを撤去した
- ・席と席の間を離した
- ・理事会のみの利用でその他は禁止した

<地域別>

首都圏では「使用禁止にした」の割合が31.5%と高い（45/143）
なかでも、東京都に限ると40.4%（19/47）⇒ 感染拡大が多いためか？

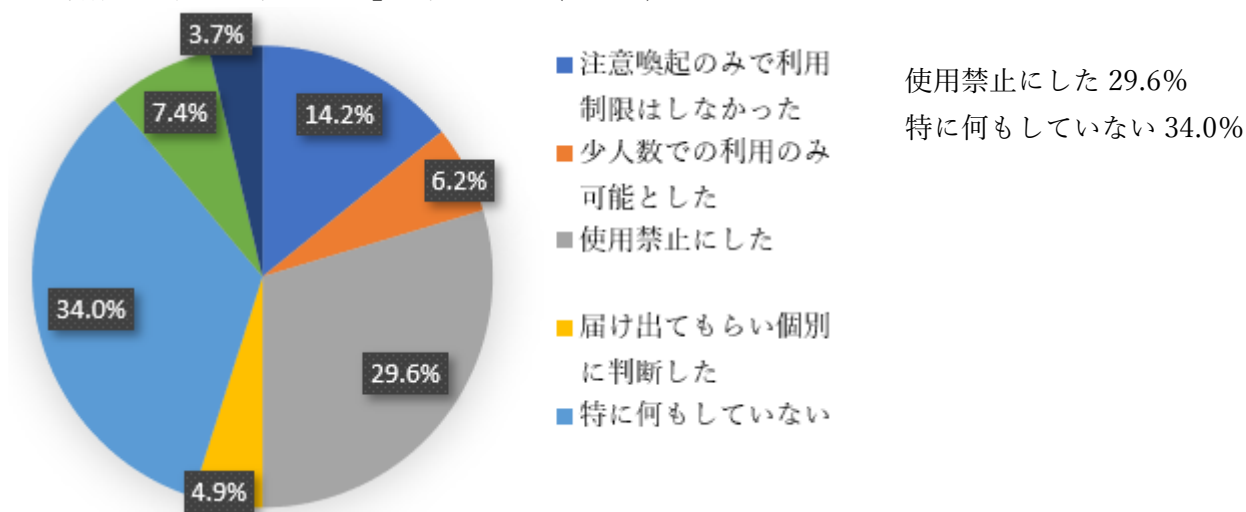
<築年数別>

築10年未満では「使用禁止にした」が最多で39.3%（22/56）⇒ 若い世代が多い方が敏感に反応
築20～29年では「特に何もしていない」が最多で37.5%（21/56）

<規模別>

300戸以上で「使用禁止にした」が最多38.7%（24/62）⇒ 大きいほど、使用禁止が多い
しかし、200～299戸では注意喚起のみが最多37.0%（10/27）で利用制限はしなかったが多い

3. 緊急事態宣言時（4月7日～5月31日）における集会室以外の共用施設の利用制限はありましたか
回答数は「共用施設がない」を除く 162（n=162）



<地域別>

首都圏では「使用禁止にした」の割合が 36.7% と高い（40/109）
なかでも、東京都に限ると 43.9%（18/41）⇒ 感染拡大が多いためか？

<築年数別>

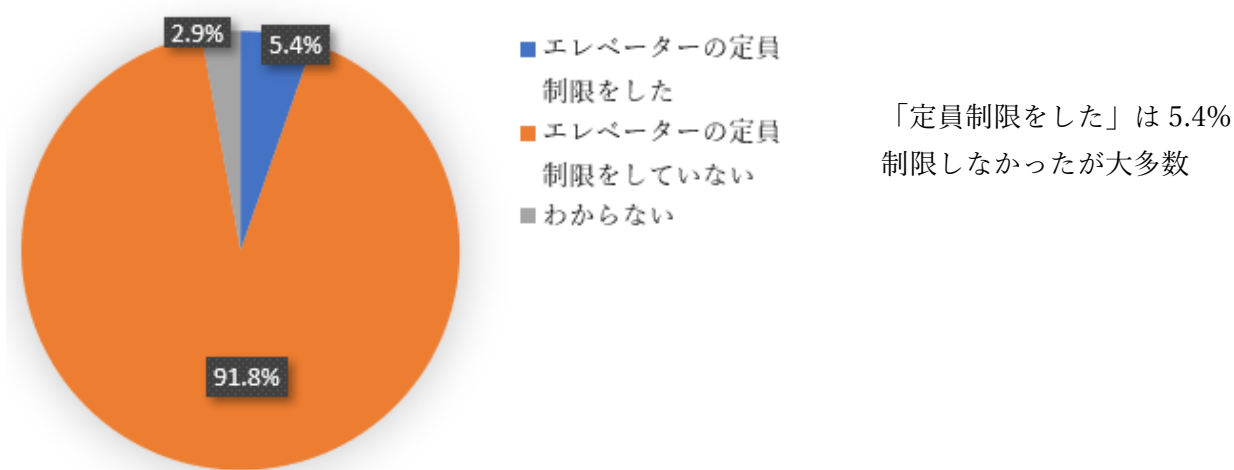
築 10 年未満、築 10～19 年で、「使用禁止にした」が多い
築 10 年未満：43.8%（7/16） 築 10～19 年：45.8%（22/48）
⇒ 若いマンションほど禁止する傾向が強い
築 20～29 年では「特になし」が最多で 52.6%（20/38）

<規模別>

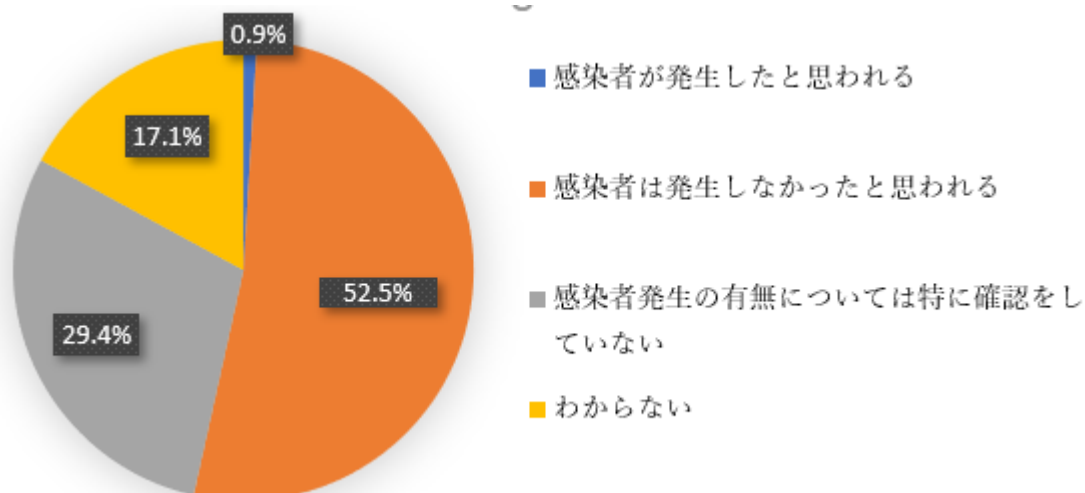
300 戸以上で「使用禁止にした」が最多 53.7%（29/54）⇒ 大きいほど、使用禁止が多い
規模が小さいほど、「特になし」が多い
50 戸未満：45.0%（9/20） 50 戸～99 戸：54.8%（17/31）

集会所と共用施設の傾向はだいたい同じで、両社の扱いに違いは同じ模様

4. 緊急事態宣言時（4月7日～5月31日）にエレベーターの定員制限をしましたか
回答数は「エレベーターがない」を除く 279（n=279）

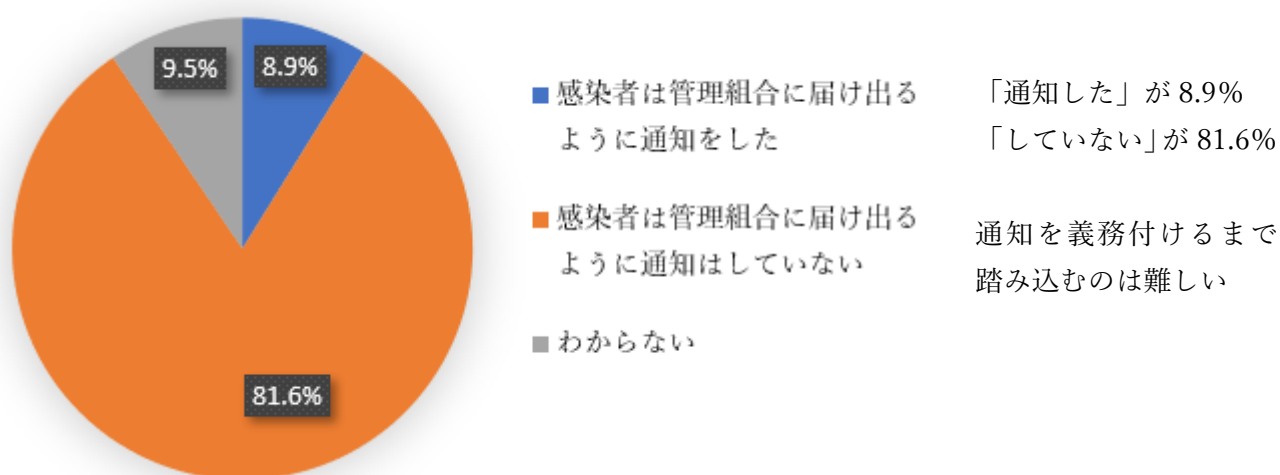


5. 感染者（陽性者）等がマンション内に発生したか（n=316）



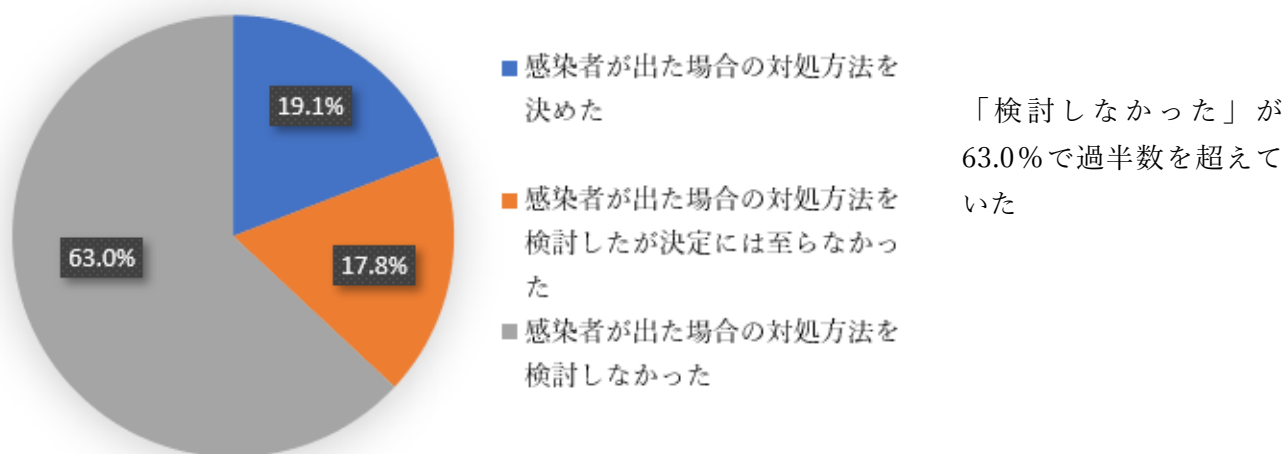
「感染したと思われる」は3件、(0.9%)

6. 感染者は管理組合に届け出るように通知していたか（n=316）

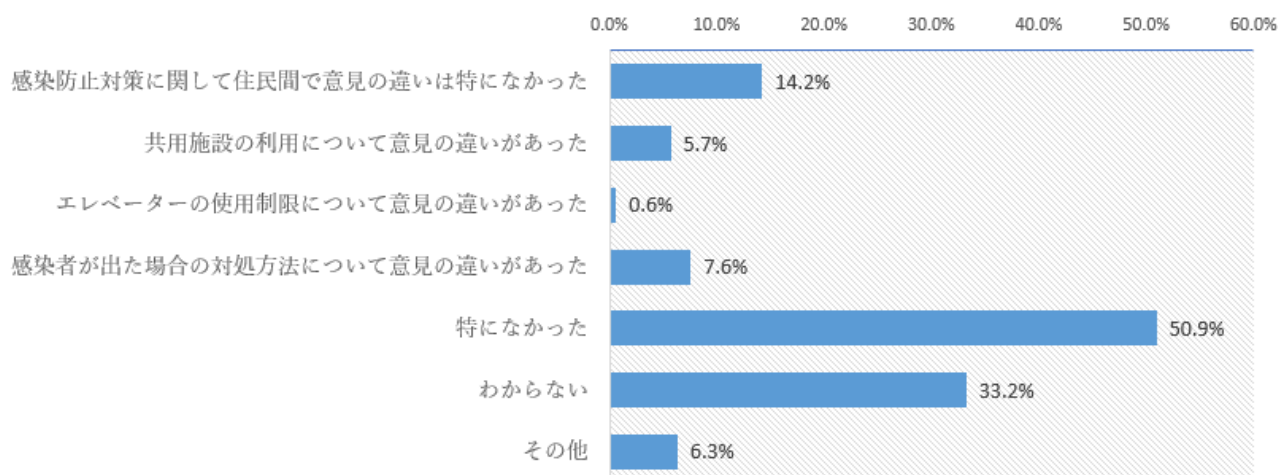


7. 感染者が出た場合の対処方法を決めていたか

回答数は「わからない」を除く 279 (n=279)



8. 感染防止対策に関して住民間で意見の違いはあったか（複数回答）（n=316）



「共用施設の利用」で 5.7%

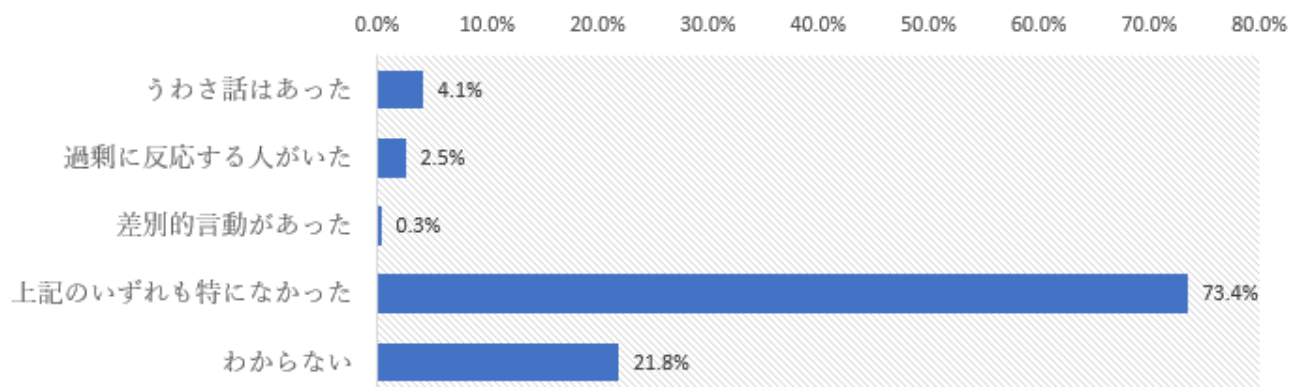
「感染者が出た場合の対応」で 7.6% の対立があった

しかし、「特になかった」50.9%、「感染防止に関して住民間で意見の違いは特になかった」14.2%と意見の違いが目立っていないところが多い。

【その他】

- ・ コロナ対策に関して理事会から情報が出てこない
- ・ すべて理事長が仕切っていて他の意見を聞かない
- ・ そもそも意見を聞くことも議論もなかった
- ・ 管理員の判断によって対応が決まっていた
- ・ マスクの無料配布について意見の違いがあった
- ・ 理事会の開催に関して意見の違いがあった
- ・ 自己責任という共通認識があった
- ・ そもそも何も対策をしていない
- ・ 管理会社発行の感染防止対策掲示のみ
- ・ 入り口に消毒液の設置を求める住人がいたが、各戸で対応するよう掲示した

9. 感染者、濃厚接触者、海外からの帰国者、医療・介護関係者等の情報がうわさになったり、差別的な言動がみられたりしたか（複数回答）（n=316）



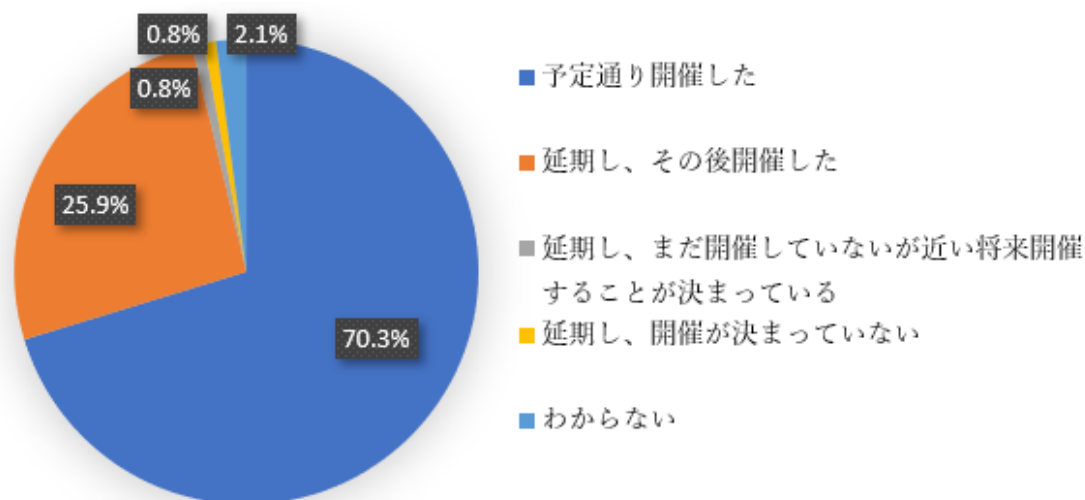
うわさ話（4.1%）、過剰反応（2.5%）が若干あったものの、多くは特段のうわさ話等はなかった。

Ⅲ. 管理組合運営

1. 総会の開催状況について

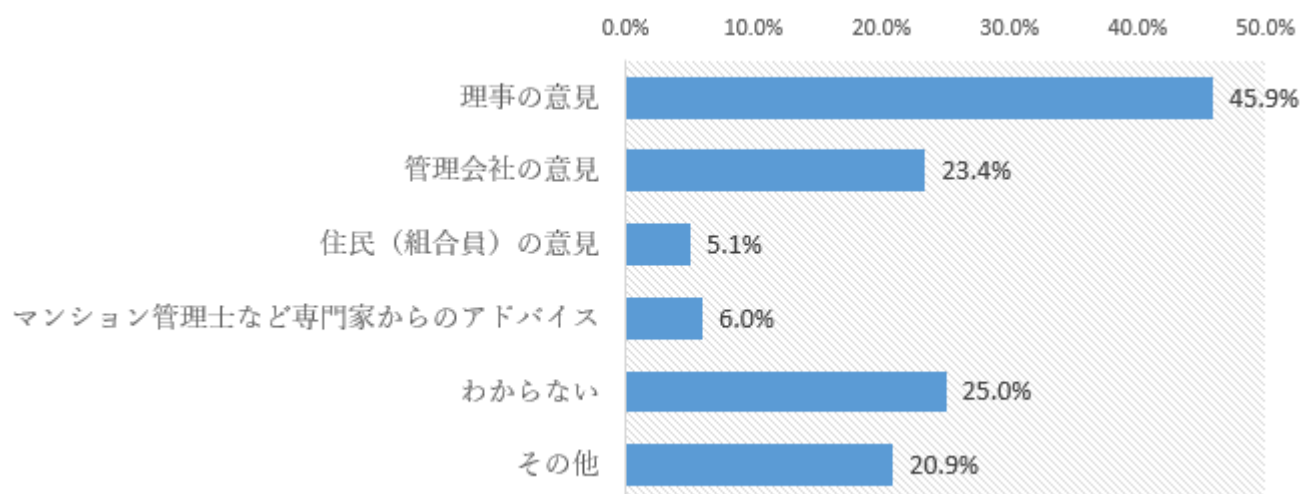
(1). 総会は予定通り開催しましたか

回答数は「総会の時期ではない」を除く 239 (n=239)



「予定通り開催」が 70.3%。その他は「延期後再開」が多い。

(2). (1)での判断の根拠は何でしたか（複数回答）(n=316)



「理事の意見」が 45.9%と多い。これは、感染リスクよりも、総会開催の必要性が大きいと判断したためではないか。また、「管理会社の意見」が 23.4 %で、管理会社も同様か。

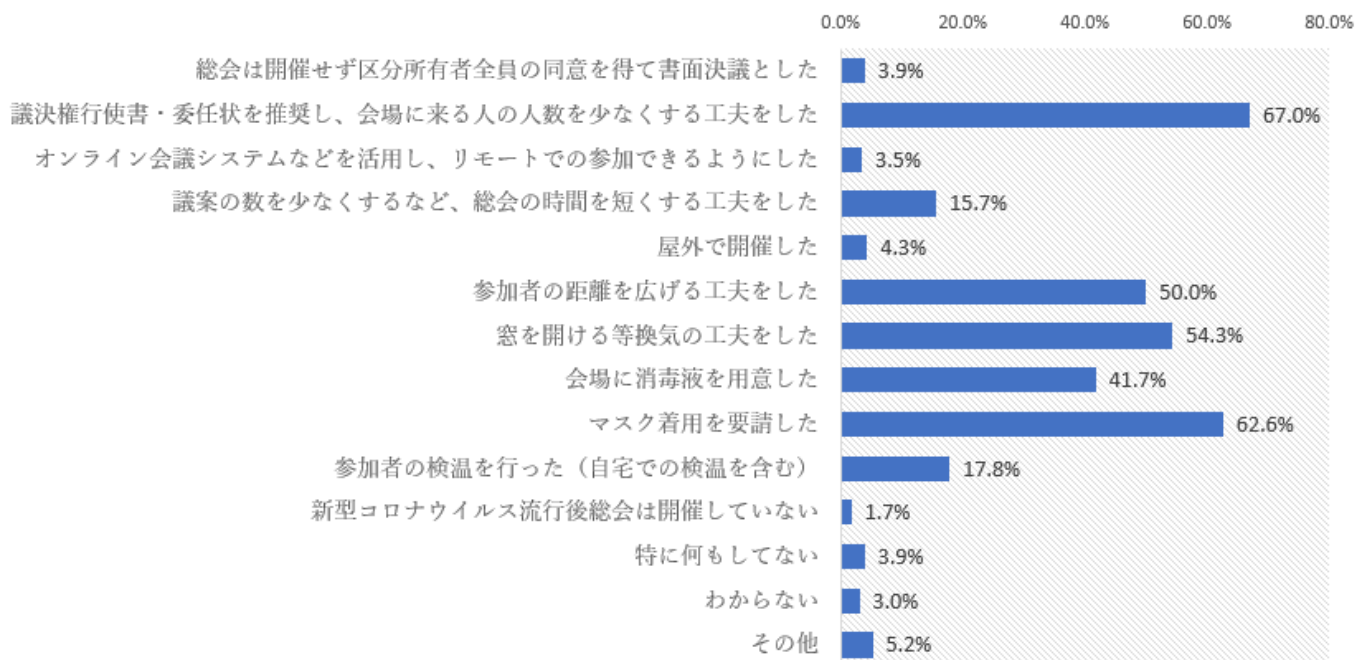
「住民の意見」5.1%、「専門家からのアドバイス」6.0%と少なく、理事会が主体性に判断した傾向がみられる。

【その他】

- ・ 11 月末の総会に向けて対策を模索中
- ・ 会場を借りている公共施設の利用状況によった
- ・ 会場で密を避けられると判断した

(2-1). 開催にあたり、特に配慮や注意したことなどを選んでください（複数回答）

回答数は(1)で「予定どおり開催した」と「延期し、その後開催した」と回答した 230（n=230）



「議決権行使書・委任状を推奨し、会場に来る人を少なくする工夫をした」（密集対策）が約 2/3。その他は、「窓を開けるなど換気の工夫」54.3%（密閉）、「参加者の距離を広げる工夫」50.0%（密接）で、多くが3密対策。「マスク着用の要請」62.6 は、要請しなくても着用が常態化していたためか。

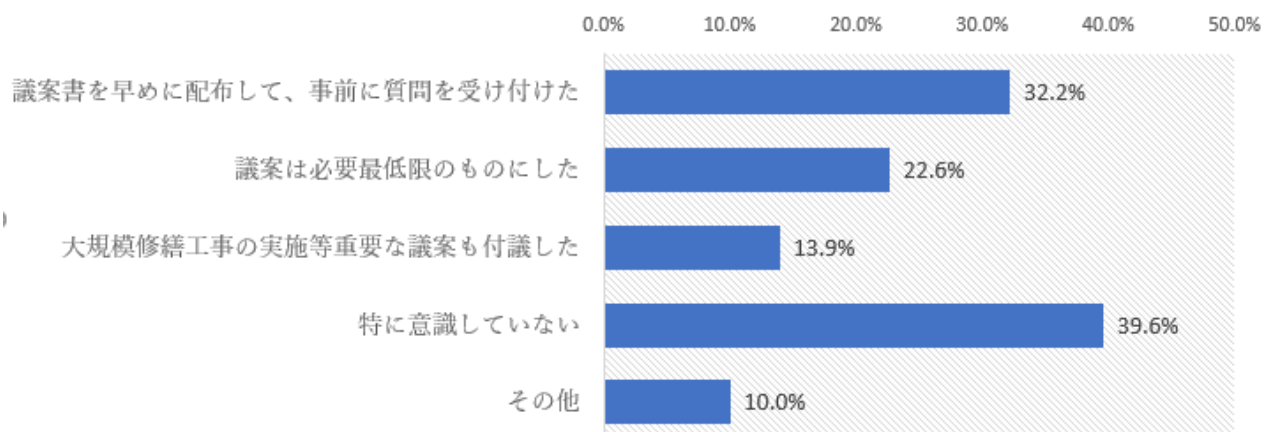
「議決権行使書・委任状を推奨し、会場に来る人を少なくする工夫をした」は 67.0%で多くで行っている。ハードルが高いと思われる「オンライン会議システムを利用」も 3.5%あった。

【その他】

- ・ 参加者を分けて実施した
- ・ 事前に質問票を配布したが、当日たくさん質問が出て、それまでと変わらなかった
- ・ 議案書の作成を工夫し、判断材料を多く提供し議決権行使書を促した
- ・ 通常の総会より広い会場にした

(2-2). コロナ禍での総会での議案について配慮したか（複数回答）

回答数は(1)で「予定どおり開催した」と「延期し、その後開催した」と回答した 230（n=230）



「特に意識していない」39.6%が多く、「議案書を早めに配布して事前質問を受けた」32.3%や「議案は最小限にした」22.6%は、密を避けて短時間で終わらせるためと思われる。

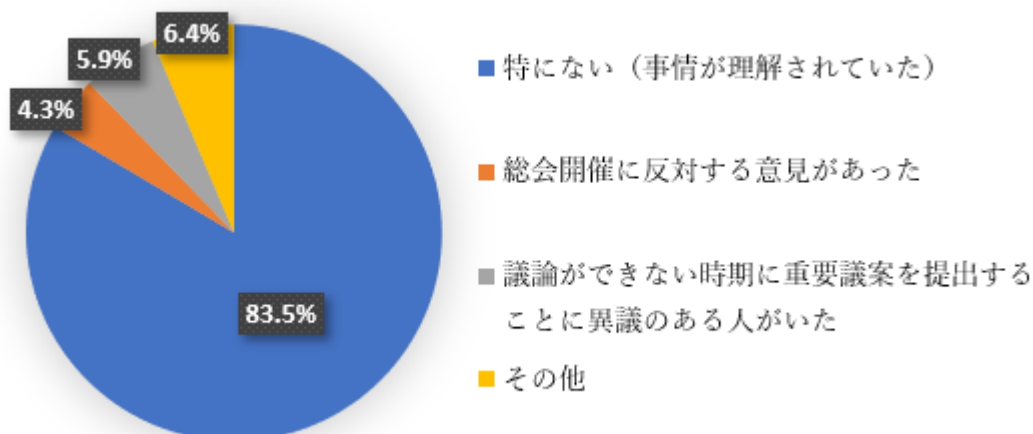
一方、「大規模修繕工事等重要議案も付議した」13.9%は、開催せざるを得ない状況もあったか。

【その他】

- ・ 総会議案以外に説明資料を配布した
- ・ 大規模修繕工事の説明を外部専門家にしてもらう予定だったが、延期して緊急対応が必要な部分だけ決議した
- ・ 大規模修繕工事は事業計画にとどめ、予算に伴う重要事項は後日臨時総会とした
- ・ 提案理由、経緯、内容の解説等を分かりやすく議案書に記載する工夫をし、議決権行使がしやすくなった
- ・ 説明資料の充実を心掛けた
- ・ 出席は役員のみだった
- ・ 理事長の意思で一方向的に決まった
- ・ 総会の内容を付帯意見も含め記載した要領を直後に配布した

(2-3). 総会開催の是非、提出議案について異議はあったか

回答数は(1)で「予定どおり開催した」と「延期し、その後開催した」と回答した 230 のうちから、本問「わからない」の回答を除く 188 (n=188)



「特にない (事情が理解されていた)」83.5%が大半で、「開催に対する反対意見があった」4.3%や「議論ができない時期の重要議案提出に異議があった」5.9%は少ない。

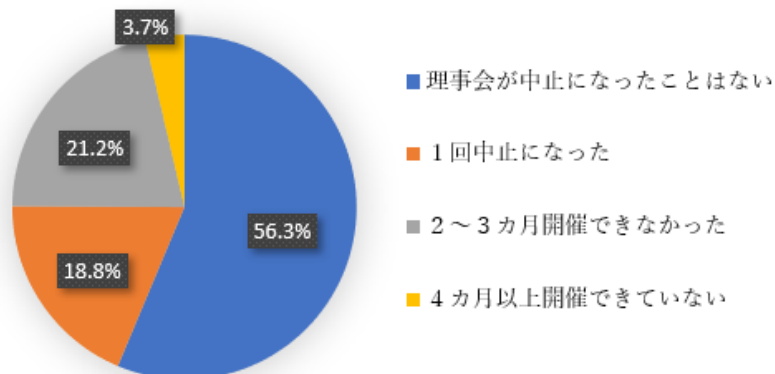
【その他】

- ・ 参加人数を制限する案内だったので不満が出た
- ・ 高齢化が進んでいるのでコロナ禍が沈静化するまでは、総会開催、重要議案提出には熟慮が必要
- ・ 総会終了後の駐車場抽選会を別の日にするよう管理会社に言ったが従わなかった

2. 理事会の開催状況について

(1). コロナ禍によって理事会が中止になったことがありますか

回答数は「わからない」を除く 245 (n=245)



「理事会が中止になったことはない」56.3%が約半数で、若干開催できなかったものが、「2～3カ月開催できなかった」21.2%と「1回中止になった」18.8%と4割程度は若干開催できなかった。また、「4カ月以上開催できていない」も3.7%と若干あった。

<地域別>

その他地域（首都圏・近畿圏以外）の「中止になったことがない」は70.8%

近畿圏の「中止になったことがない」は40.5%と少なく「1回中止」が31.0%と多い

近畿圏に比べ首都圏は「中止になったことがない」は56.1%と多かった（東京都に限ると「中止になったことがない」は51.5%）⇒ オンライン活用等開催方法の工夫をしたからか？

<築年数別>

10年未満の「中止になったことがない」が38.9%に対して、40年以上は66.0%で、築年数が浅いほど理事会を中止した傾向が見られる。築年数が浅い＝若い世代が多いと仮定すると、若い世代ほど反応したか？（勤務先などのコロナ対策が影響？）

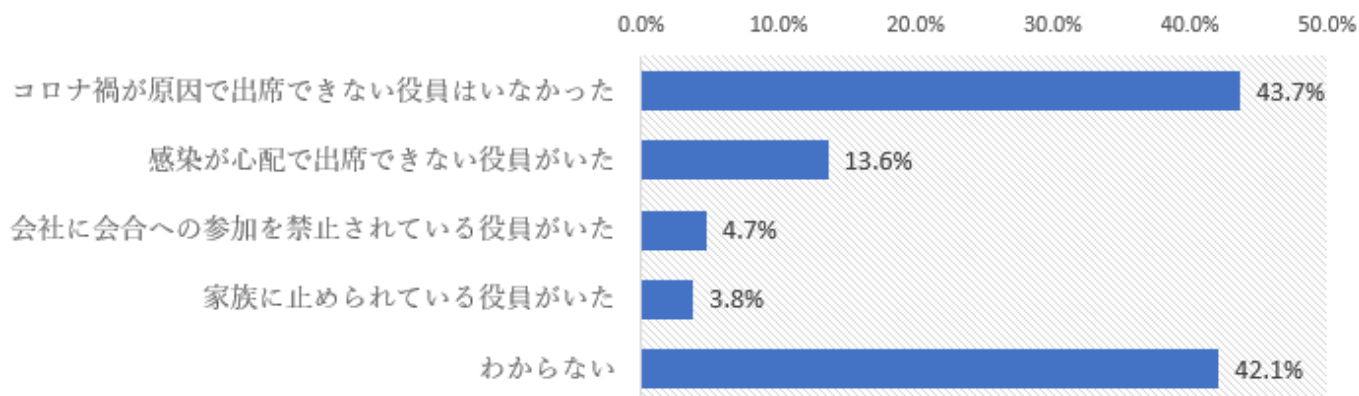
<規模別>

「中止になったことがない」が多いのは、50戸未満（65.2%）と300戸以上（61.2%）

50戸未満は理事の人数が少ないので密を避けられるからか。

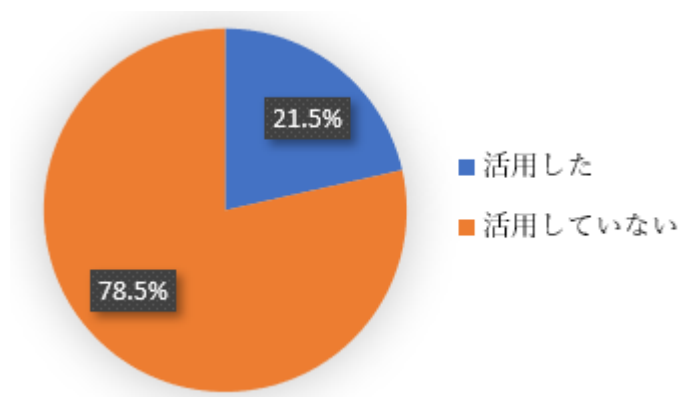
300戸以上では、理事会の検討事項が多く理事会を中止できない、等の理由か？

(2). コロナ禍が原因で理事会に出席できない役員はいましたか（複数回答）(n=316)



理由や事情まで確認しない場合が多いため「わからない」が42.1%と非常に多かったので、欠席した人の抱える事情はもっと実数が多いと考えられる

(3). コロナ禍以降にオンライン会議システムを管理組合のどこかで活用しましたか (n=316)
回答数は「わからない」を除く 261 (n=261)



<地域別>

首都圏の「活用した」は30.5%と他の地域より極端に多い(近畿圏9.1%、その他2.0%)

<築年数別>

築年数が浅いほど「活用した」が多い(10年未満33.3%、40年以上13.0%)
⇒ 住民が若くオンラインが活用しやすいためか

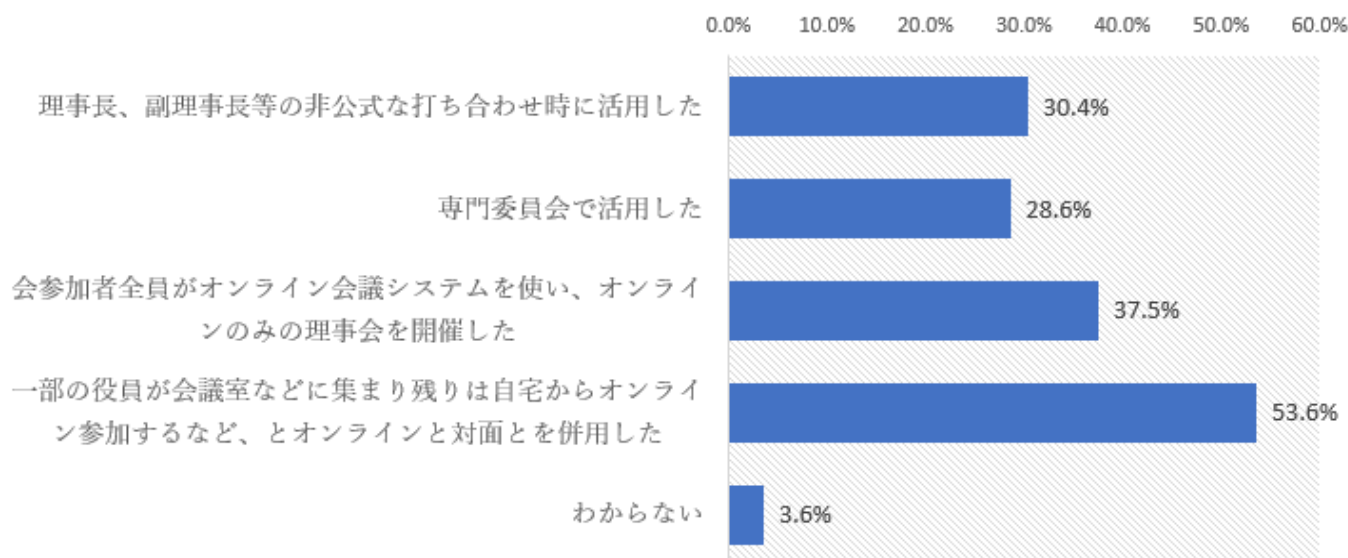
<規模別>

規模が大きいほど「活用した」が多い(50戸未満9.1%、300戸以上49.0%)

⇒ 規模が大きいと理事会の検討事項が多く理事会を中止できない、理事が多いとオンライン開催等を仕切れる人材がいるから?

(3-1). オンライン会議システムをどのように活用しましたか (複数回答)

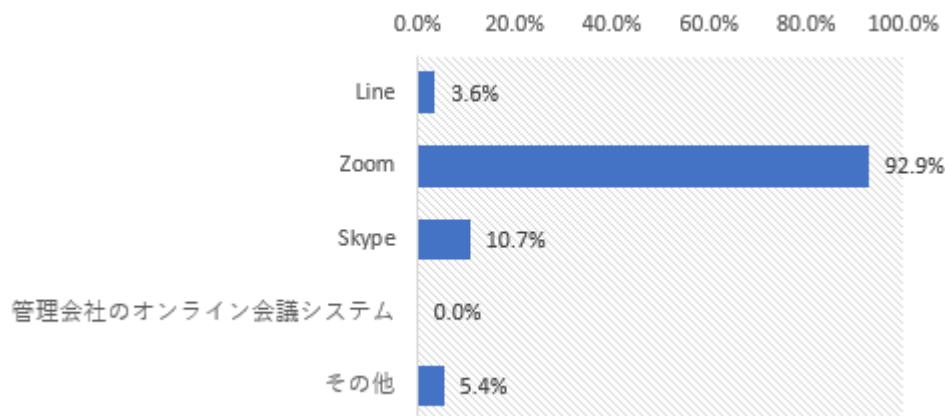
回答数は(3)で「活用した」と回答した56 (n=56)



オンラインとリアル併用が53.6%
全員オンラインのみも37.5%ある。

(3-2). 利用したシステムは何ですか（複数回答）

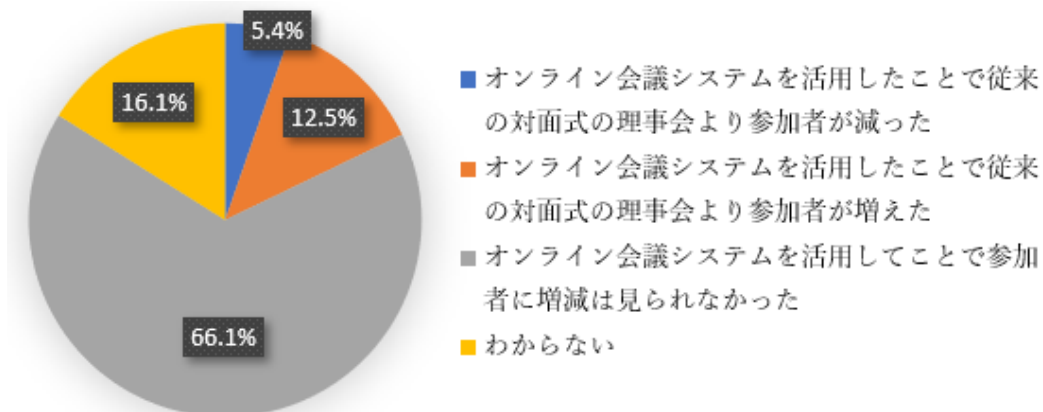
回答数は(3)で「活用した」と回答した 56（n=56）



（その他）3件

Teams、メール、Google meet

(3-3). オンライン会議システム活用で参加者の増減は見られましたか（n=56）



大半が増減なし、分からない。

<地域別>

回答数 56 のうち 51 が首都圏 ⇒ 調査結果は、ほぼ首都圏の状況

<築年数別>

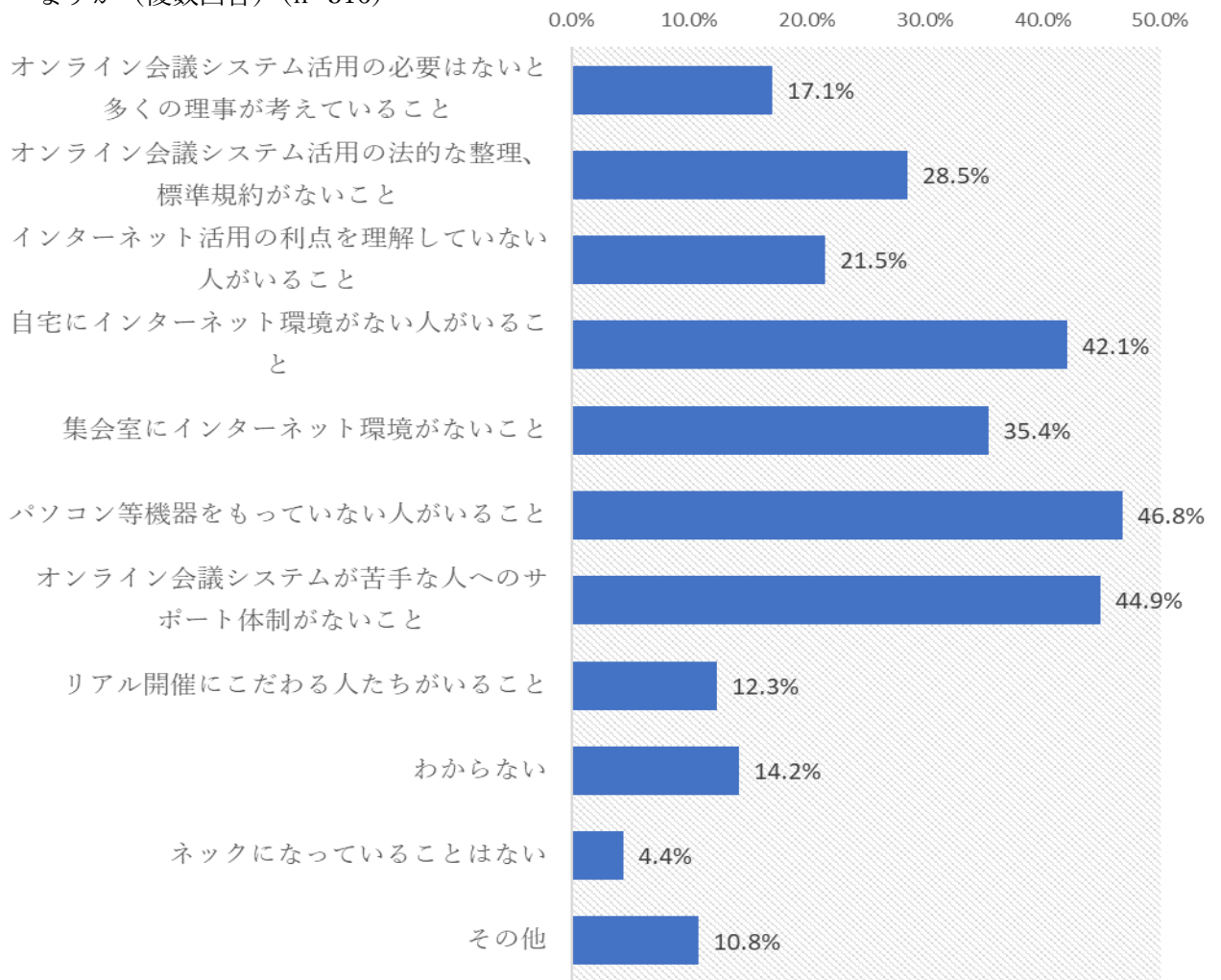
築 10 年未満で「増えた」が多い（33.3%）⇒ 若い住民が多いから？

減ったと回答したのは、すべて「築 30 年～39 年」⇒ 高齢役員が多いから？

3. コロナ禍の管理組合運営で、とくに困ったこと、工夫したこと等があったら、お書きください
別冊参照

4. 今後のオンライン活用について (n=316)

(1). オンライン会議システムを理事会、総会に活用することのネックになっていることは何だと思いませんか (複数回答) (n=316)



「パソコン等の機器を持っていない人がいること」 46.8%

「オンライン会議が苦手な人へのサポートがないこと」 44.9%

「自宅にインターネット環境がないこと」が 42.1%

「集会室にインターネット環境がないこと」が 45.4%

【その他】

- ・ オンライン会議を開催するという発想がない
- ・ そもそも議論したことがない
- ・ オンライン会議の存在を理解できない組合員が多い
- ・ 小規模なので活用のメリットを特に感じない
- ・ リアルで十分できているので必要性を感じない
- ・ オンライン会議に参加すると気分が悪くなるという人がいた
- ・ オンラインでは議論が十分できない
- ・ 仕切る人の負担が大きすぎる
- ・ オンラインでは全体の空気が読めない
- ・ 高齢者が多い
- ・ 高齢者が多いためインターネット利用が必要なら理事を引き受けたくないという人が多い
- ・ 高齢者が多いため拒否反応がある

- ・ 管理会社担当者の IT スキルが低い
- ・ 管理会社が対応できない
- ・ オンライン理事会では、各理事のスキル、理解度の格差が広がる
- ・ 固定観念に縛られ工夫の余地がない老害のような人の存在
- ・ 前例がないことは実施できない
- ・ 個人情報保護の観点からアドレスを知らせたくない役員がいる
- ・ 総会での活用は議案審議上かなり困難

<築年数別>

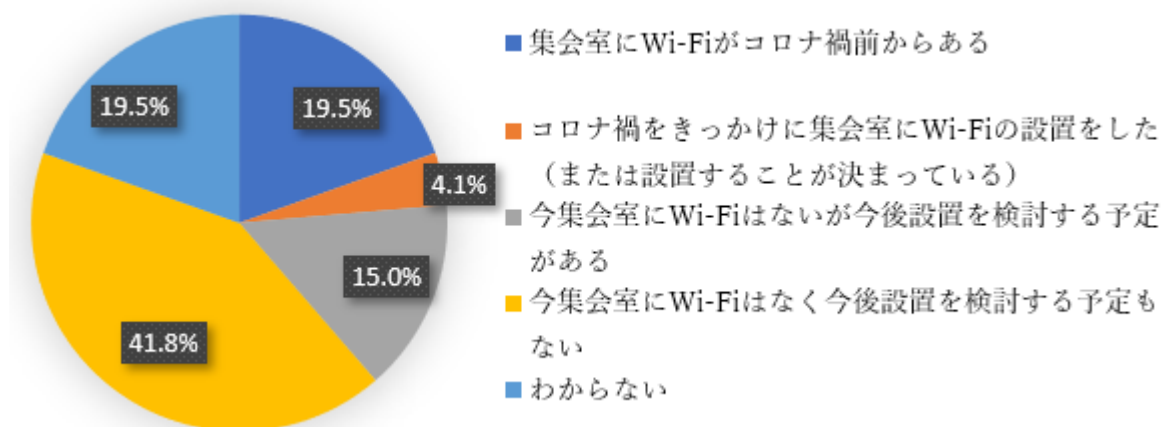
「ネックになっていることはない」で築 10 年～19 年が一番多い

<規模別>

50 戸～99 戸では、「集会室に Wi-Fi がないこと」が一番多い

(2). 集会室に Wi-Fi はありますか

回答数は「集会室はない」の回答を除く 56 (n=56)



「コロナ以前からある」 19.5%
「コロナをきっかけに設置」 4.1%
「今後検討する予定がある」 15.0%
「今後検討する予定もない」 41.8%と最多
「わからない」 も 19.5%ある

⇒ 4 割はインターネット活用に積極的
⇒ 4 割はインターネット活用に消極的

<地域別>

首都圏で「コロナ以前からある」が多い

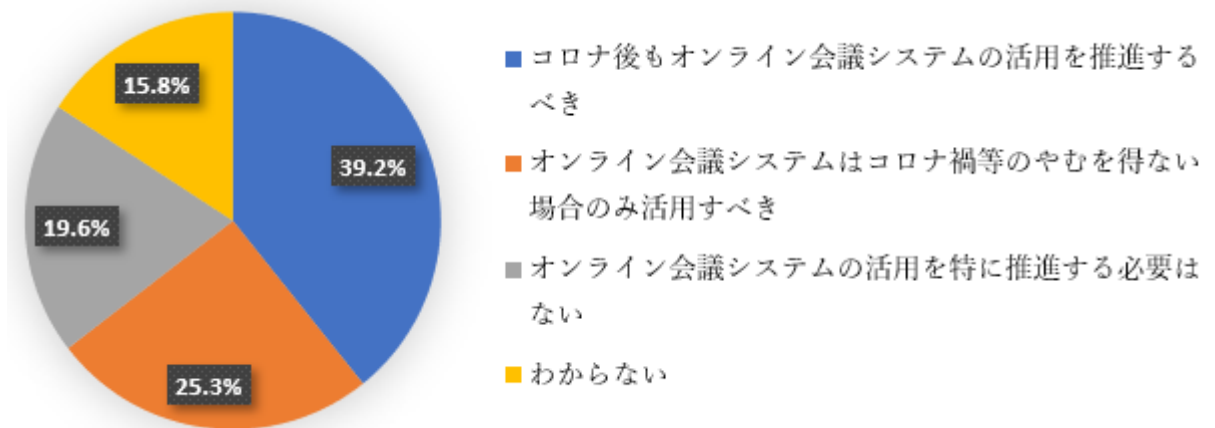
<築年数別>

築 10 年未満、築 10 年～19 年で「コロナ以前からある」が多い

<規模別>

規模が大きくなるほど「コロナ以前からある」が多い傾向が見える

(3). オンライン会議システムの活用についてどう思いますか (n=316)



「コロナ後も推進すべき」は 39.2%

「コロナ禍等やむを得ない場合のみ活用すべき」が 25.3%

「特に活用を推進する必要がない」が 19.6%

「わからない」が 15.8%

} 過半数は活用に消極的

<地域別>

首都圏、特に東京都で「コロナ後も推進すべき」が多い

<築年数別>

築年数が浅くなるほど「コロナ後も推進すべき」が多い傾向がはっきり見える

築 10 年未満では、64.0%が「コロナ後も推進すべき」

<規模別>

50 戸～99 戸が「コロナ後も推進すべき」が最も少なく、「特に活用を推進する必要がない」がもっとも多くなっている

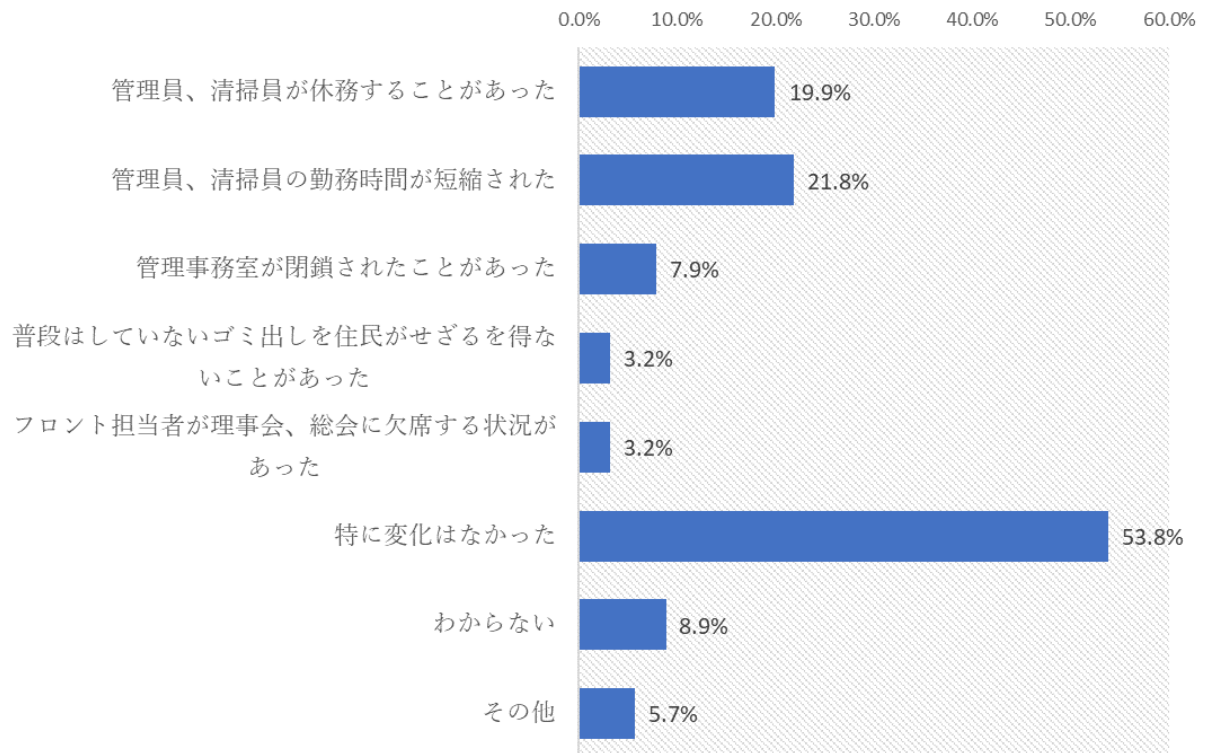
(4). オンラインの活用について特にご意見があったらお書きください (自由記載)

別冊参照

IV. 管理会社、清掃会社の対応

1. コロナ禍対策での管理会社（自主管理の場合は清掃会社、以下管理会社等）の対応、現場スタッフ等の勤務状況

(1). 現場スタッフ等の勤務状況にどんな変化がありましたか（複数回答）（n=316）

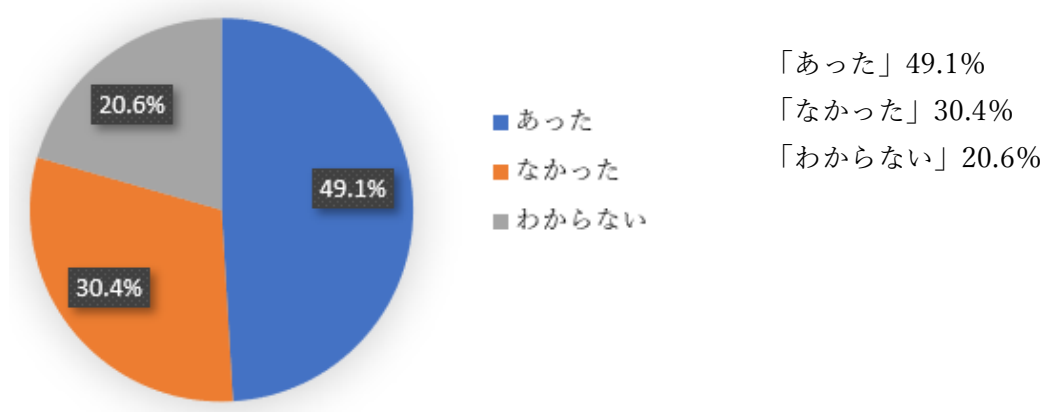


「特に変化がなかった」53.8%と「わからない」8.9%を合わせると62.7%
それ以外の約4割のマンションでは何らかの影響があったと推測される

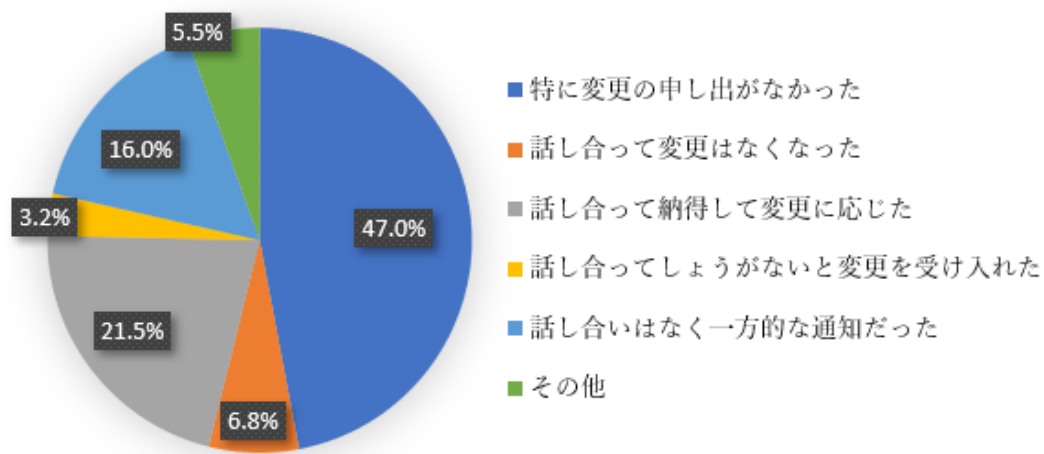
【その他】

- ・ コンシェルジュデスクを数カ月間閉鎖した
- ・ コンシェルジュは委託会社の要望で一時休務となった
- ・ 通勤時の感染リスクを避けるため管理員の勤務時間を30分早めてもらった
- ・ コロナを理由に休務の知らせが来たが住民の反発が大きく元通りとなった
- ・ 管理会社が窓口、清掃業務の時短を要求してきたが、「マンション管理」は自粛対象になっていないので突っぱね通常通りとした
- ・ コロナ禍をきっかけに、管理員・清掃員が出席できない場合の代替日勤務又は管理委託費の清算の取り決めをした
- ・ 管理会社が管理員の確保に苦勞している
- ・ 管理会社がセキュリティを理由にオンライン会議に参加できずに欠席
- ・ フロントが出席できないため理事会、修繕委員会を開催しなかった

(2). 管理会社等の感染防止対策について説明がありましたか (n=316)



(3). 現場スタッフの勤務状況の変更について管理会社等との話し合いが持たれましたか
回答数は「わからない」の回答を除く 219 (n=219)



「特に変更の申し出がなかった」が 47.0%

「話し合って納得して変更に応じた」が 21.5%

「話し合いはなく一方的な通知だった」が 16.0%

【その他】

特段の記載なし

<地域別>

首都圏、特に東京都で、「変更の申出がなかった」が少なくなっている

<築年数別>

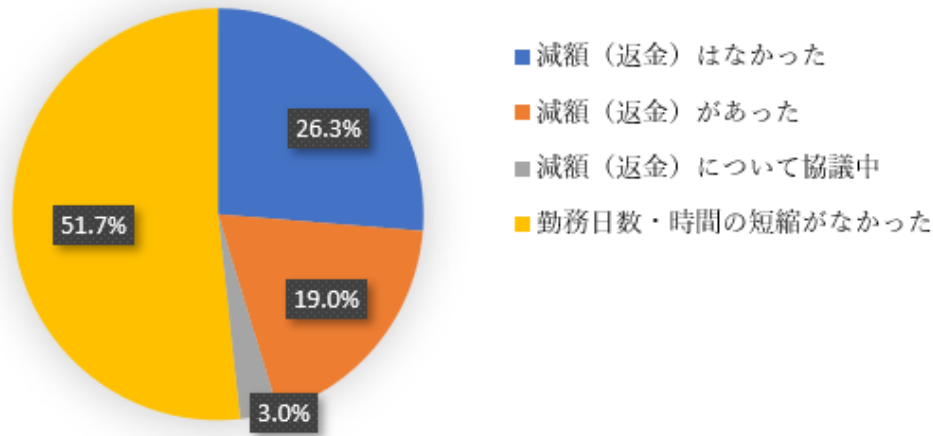
築年数が高くなると、「変更の申出がなかった」が高くなる傾向がある

<規模別>

規模が大きくなると、「変更の申出がなかった」が低くなる傾向がある

300 戸以上では、「話し合って変更がなくなった」が 12.2%あった

- (4). 勤務日数、時間の短縮等に伴い、委託管理費の減額（返金）はありましたか
回答数は「わからない」の回答を除く 232 (n=232)



「減額（返金）はなかった」が 26.3%

「減額（返金）があった」は 19.0%

「減額（返金）について協議中」が 3.0%

「勤務日数、・時間の短縮がなかった」が 51.7% ⇒ 半数は影響なし

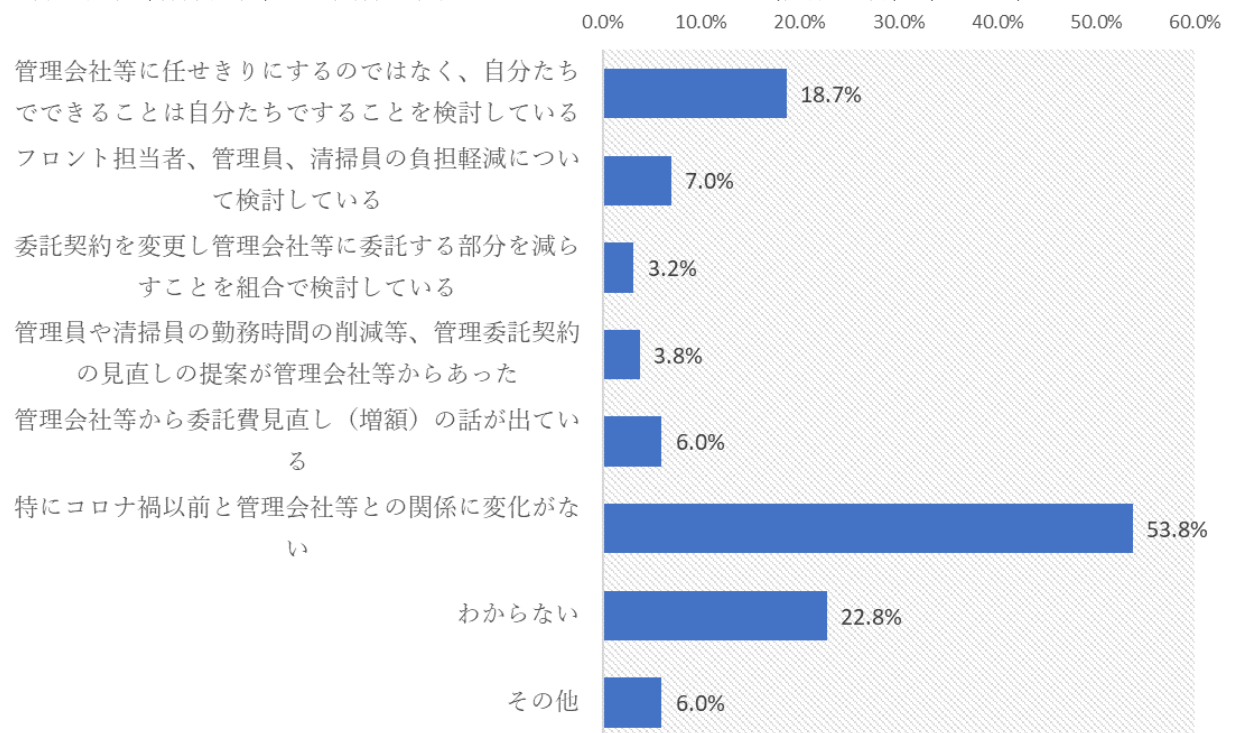
< 築年数別 >

「減額（返金）があった」は、築 10 年未満で最も多く、築年数が増えると共に減少している
20 年以降は、「勤務日数・時間の短縮がなかった」が過半数

2. 管理会社等の対応で特に気になったことがあったらお書きください（自由記載）
別冊参照

3. コロナ禍で管理会社との関係はどう変わるか

- (1). 管理会社(清掃会社)との関係で該当するものはどれですか（複数回答）(n=316)



「特にコロナ以前と変わらない」が 53.8%、「わからない」が 22.8%で合わせると 76.6%
100-76.6=23.4%では何らかの関係見直しを考えていると推測される

【その他】

- ・ もともと管理組合ができることは自分たちでやってきたが、管理会社のコロナ禍対応が最悪で、コロナ禍がある程度収束したら管理会社の変更も考えている
- ・ 清掃会社に委託していたゴミ収集後の立会い清掃を、今年度から当番制で住人が行うこととした
- ・ コロナ禍にかかわらず、フロント、管理員の負担軽減を進めるべきと考える
- ・ コロナ以前から人手不足により休暇時の代替派遣がない
- ・ 既存業務とコロナ禍対応で負担が増える業務を整理し話し合った
- ・ 管理委託費の値上げの話が出ているが、コロナ禍とは無関係
- ・ 管理委託費の値上げ要請は、コロナ禍とは無関係な項目
- ・ 管理会社のサービス内容の劣化が酷い
- ・ 毎年度、見直しを検討している
- ・ コロナ禍が長引きそうだから来年度以降「見直し」を検討する

<築年数別>

築 40 年以上で、「管理会社に委託する部分を減らすことを検討」が多い
築 10 年未満では、どの見直しも少ない

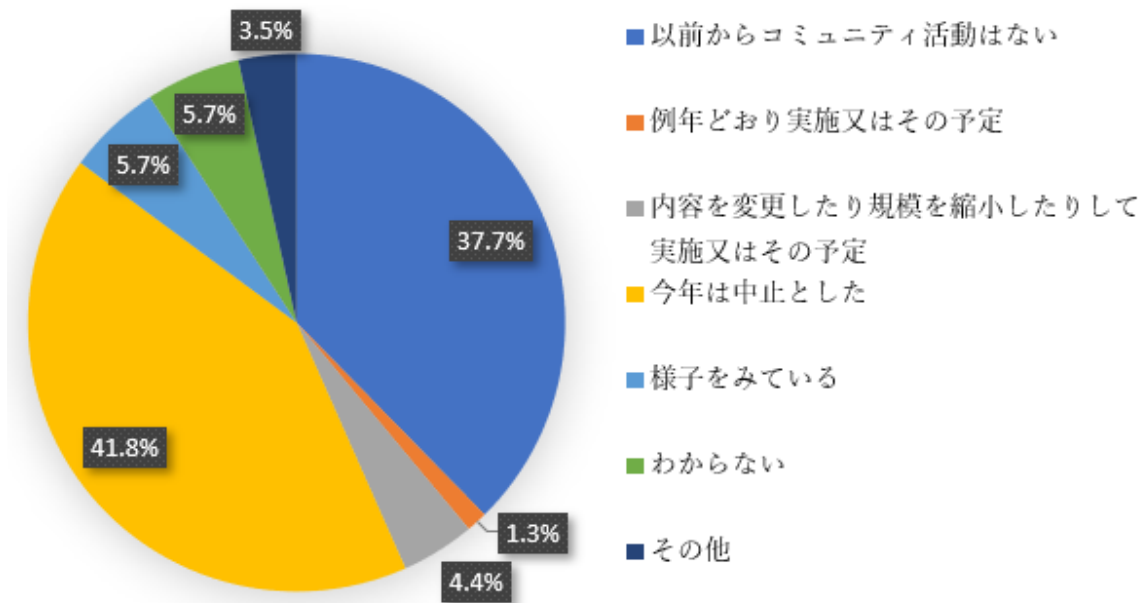
<規模別>

50 戸未満で、「管理会社に委託する部分を減らすことを検討」が多い

- (2). 管理会社と管理組合のあるべき関係について特にご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記載)
- 別冊参照

V. コミュニティ・防災

1. コロナ禍以降、お祭り等のコミュニティ行事の実施状況はどうですか（n=316）



「今年は中止した」41.8%

「以前からコミュニティ活動はない」37.7%

「内容を変更したり規模を縮小したりして実施」4.4%

【その他】

- ・ マンション内部ではないが町内会の行事はすべて中止
- ・ 地域行事と連携した行事は、地域行事が中止となったため中止
- ・ 夏祭りは中止したが、防災訓練と合わせて規模を縮小して秋祭りは実施
- ・ 敷地内美化、植栽管理、避難訓練は実施

<地域別>

首都圏では「今年は中止した」が多い

<築年数別>

築40年以上で、「今年は中止した」が多い

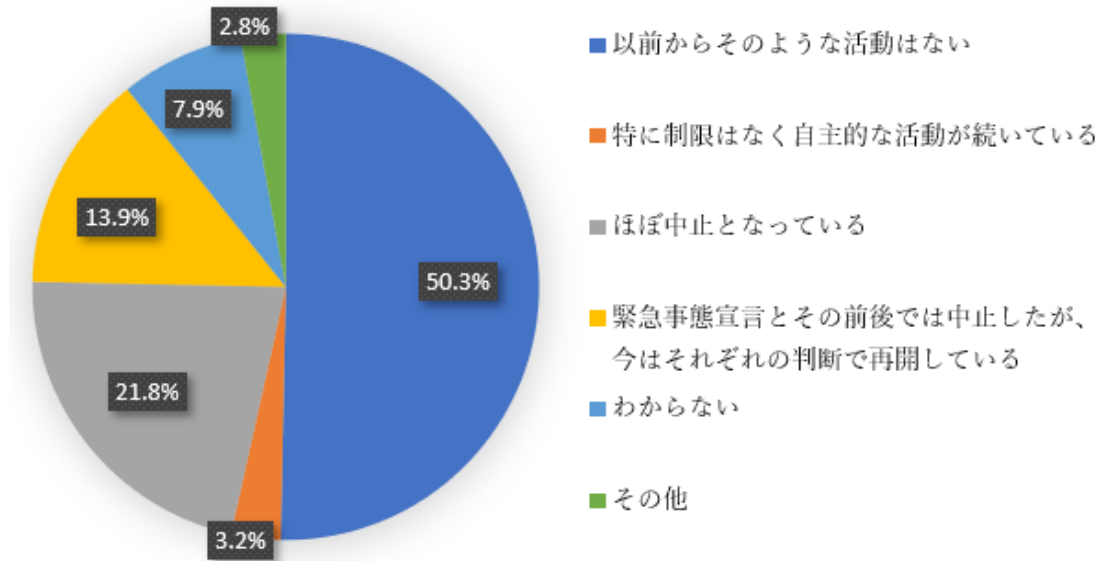
<規模別>

「以前からコミュニティ活動はない」は規模が小さくなるほど多く、50戸未満では63.2%に達する

300戸以上では、「今年は中止した」が81.0%と圧倒的に多い

「例年通り実施した」は50戸～99戸に集中している

2. コロナ禍以降、サークル活動・お茶会等の実施状況はどうですか (n=316)



「以前からそのような活動はない」50.3%が約半数。その他は、「ほぼ中止となっている」21.8%、「緊急事態宣言とその前後では中止したが、今はそれぞれの判断で再開している」13.9%等。

【その他】

- ・ 理事会後の役員間のコミュニケーションが皆無になった
- ・ 感染予防対策を十分に行い自主的に活動しているが、一部では以前より回数が増え、参加者も増えている
- ・ コミュニティカフェは休止状態だが、他のサークル活動は通常通り
- ・ 人数制限をして飲食なしで行うことで許可
- ・ 今は、会場の申し込みを受け付けていない
- ・ Zoom で住民有志が情報交換を行っている

<地域別>

「その他の地域」で「以前からそのような活動はない」が多い

<築年数別>

「以前からそのような活動はない」は、築10年未満と築40年以上で少ない

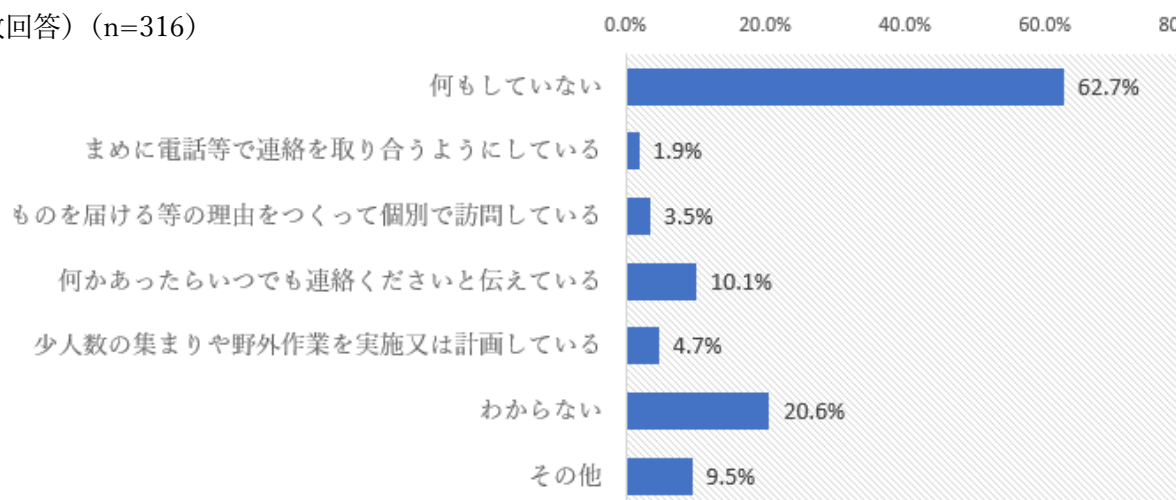
<規模別>

「以前からそのような活動はない」は、規模が小さいほど多く

50戸未満で75.0%、50戸～99戸では68.8%

300戸以上では、「ほぼ中止」と「それぞれの判断で再開している」がほぼ同じ。

3. コロナ禍で普段以上に孤立しがちな高齢者への対策を、コミュニティ活動として何かしましたか（複数回答）（n=316）



「何もししていない」 62.7%

「何かあったら連絡下さいと伝えている」 10.1%

【その他】

- ・ マンション内の町内会でのやり取りはある
- ・ 高齢者間で連絡をとるようにしている
- ・ 高齢者が出てくる場としてマンション内で野菜市を始めた
- ・ 管理員が個人的に声を掛けてくれている
- ・ 定年退職した理事の方が積極的に声掛けをしてくれている
- ・ 老人クラブがやっている
- ・ 管理員に高齢者の日常の変化を注視してもらっている
- ・ ご近所の方とできるだけコミュニケーションをとるようにしている
- ・ 高齢者には自治会と民生委員が対応することになっている
- ・ 以前から高齢者の見守りは理事にお願いしている
- ・ 以前から行っている緊急連絡カードの見直し、周知を行った
- ・ 感染した場合の支援チームを組織した
- ・ 時々電話で話をする
- ・ 理事長として個別に手紙を書いて何かの際には遠慮なく一報を伝えている
- ・ 民生委員との連携を強化している
- ・ 市の高齢者緊急通信システムの全面導入をした

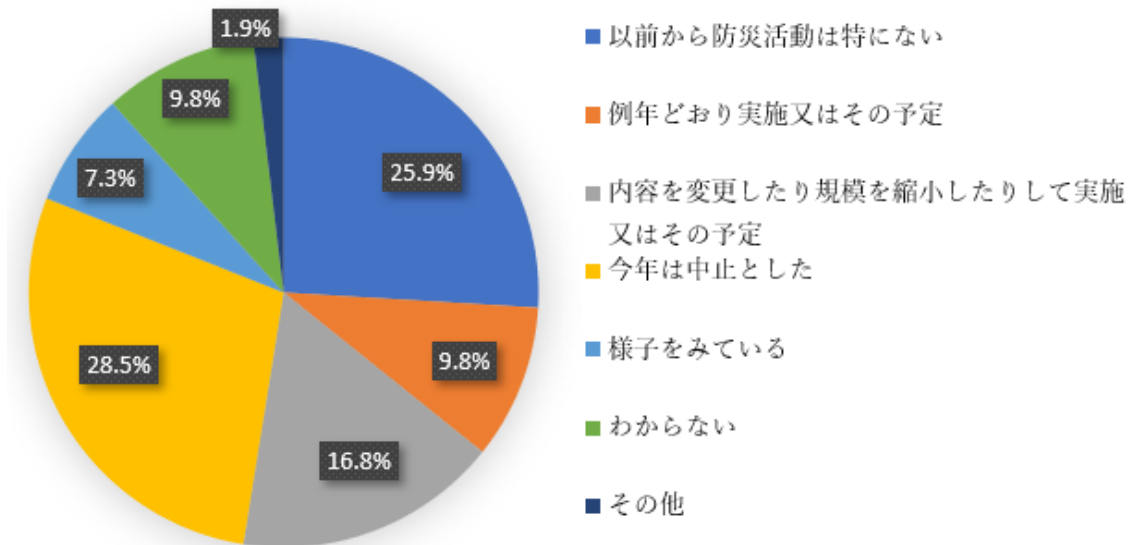
<地域別>

首都圏では、「少人数の集まりや野外作業」が圧倒的に多い

<築年数別>

築40年以上では「まめに電話等で連絡を取り合うようにしている」が圧倒的に多い

4. 防災活動の実施状況はどうなっていますか（n=316）



「以前から防災活動は特になし」が 25.9%

「例年通り実施」が 9.8%

「内容を変更したり規模を縮小して実施」が 16.8%

【その他】

- ・ 防災読本を作成して配布した
- ・ 内容、規模を消防署と相談して実施予定
- ・ 防災訓練の代わりに夜間パトロールを開始した
- ・ 集まる訓練をやめ、発電機等の試験運転等、実際の災害時に役立つメニューとした

<地域別>

近畿圏で、「防災活動は特になし」が多い

「今年中止した」は首都圏が多い

<規模別>

「以前から防災活動は特になし」は築年数が浅くなるほど多い傾向（300戸以上では、ゼロ）

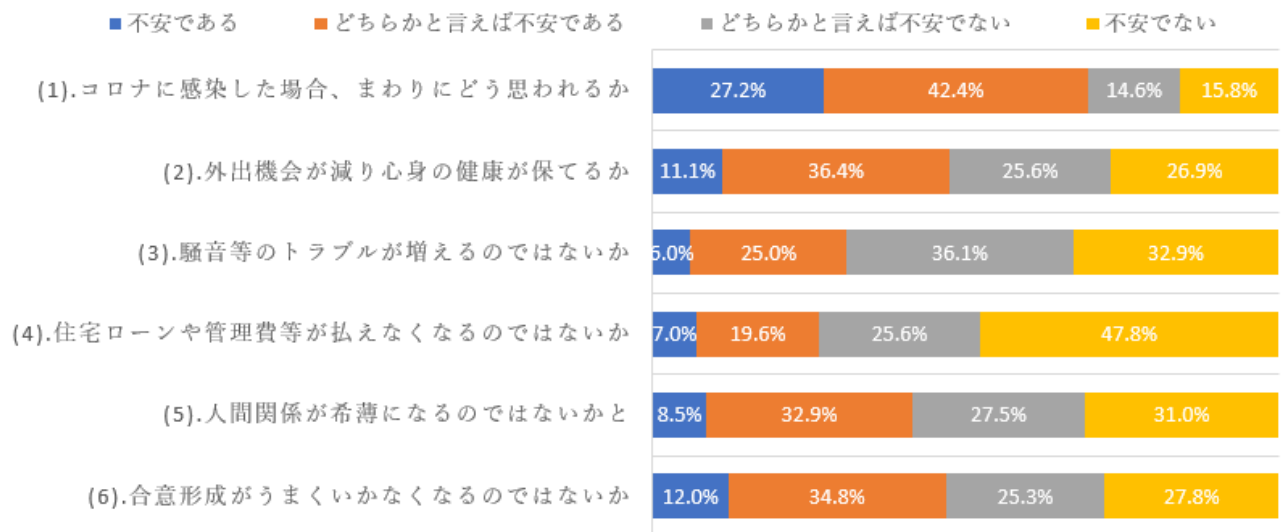
「内容を変更したり規模を縮小して実施」は規模が大きくなるほど多くなる傾向

5. コロナ禍のコミュニティ・防災活動について特に工夫していらっしゃいましたらお書きください（自由記載）（n=316）

別冊参照

VI. 今後不安に思うこと

1. With コロナ、コロナ後のマンション生活に関して不安に思うことはありますか (n=316)



- 「コロナに感染した場合、まわりにどう思われるか」が、「不安である」(27.2%)「どちらかと言えば不安である」(42.4%)、合わせて 69.6% に達し約 2/3 を占める。

<地区別>

近畿圏で「不安である」が一番高く、
「不安である」と「どちらかと言えば不安である」を合わせた割合は、
首都圏、近畿圏、その他でほとんど同じである。
感染拡大状況に比例しておらず、感染者が少ない地域でも、
むしろ数が少ないからこそ感染した場合の周囲の反応に不安を感じるのであろうか

<築年数別>

築 10 年未満で、不安度が低い。

これに続いて、不安度が高いのが、

- 「外出の機会が減り心身の健康が保たれるか」が、「不安である」(11.1%)「どちらかと言えば不安である」(26.4%)、合わせて 37.5%。

<地域別>

「その他」で不安度が低い。感染者数が少ないことが影響しているか

<築年数別>

築年数が浅いほど不安度が低い傾向が若干だが見られる。
築年数が浅いほど、高齢者が少ない、仕事等で外出せざるを得ない現役世代が多いことが影響しているか

<規模別>

「不安ではない」は規模が大きくなるほど少なくなる傾向がある。

規模が大きいと、敷地内に散歩するスペースがあること等が影響しているか

次に不安度が高いのが、

- 「合意形成がうまくいかなくなるのではないかと」「不安である」(12.0%)「どちらかと言えば不安である」(24.8%)、合わせて 36.8%と高くなっている。

<地域別>

「その他」で不安度が低い

<築年数>

築 10 年未満で不安度が低い

<規模別>

200 戸～299 戸で不安度が高い。

- 「住宅ローンや管理費等が払えなくなるのではないかと」は、「不安である」(7.0%)「どちらかと言えば不安である」(19.6%)、合わせて 26.6%と、不安度が一番低かったが、むしろ 26.6%も不安に思っている人がいるということは軽くはないと考える。

2. 特に不安に思うことがありましたらお書きください（自由記載）（n=316）

別冊参照

VII. 今後の展望

1. 新しい生活様式での管理組合運営とコミュニティ（n=316）

- (1). With コロナの管理組合運営の在り方、工夫についてお考えがありましたらお書きください（自由記載）

別冊参照

- (2). With コロナのコミュニティ活動の在り方、工夫についてお考えをお書きください（自由記載）

別冊参照